

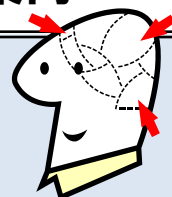
この研修は、高次脳機能障害支援体制加算の要件となる研修ではありません

令和6年度 東京都心身障害者福祉センター 第2回高次脳機能障害者相談支援研修会のご案内

高次脳機能障害の

「本人にとっての気づき・理解」とは
～気づかせようとするのは必要？

医療・福祉・介護ではどうすればいいのか～



日時

令和6年 **10** 月 **25** 日 (金曜日)

午後1時30分から午後4時35分まで 受付開始：午後1時から

定員

300人(先着順) ※先着順、定員になり次第締め切ります。

対象

東京都内で高次脳機能障害の相談・支援に関わる
医療・福祉・介護の職員等

会場

東京都社会福祉保健医療研修センター 1階 講堂
(東京メトロ丸の内線「茗荷谷」駅下車 徒歩約8分)



無料です

プログラム

1部 講演：高次脳機能障害の「本人にとっての気づき・理解」とは

～気づかせようとするのは必要？医療・福祉・介護ではどうすればいいのか～

講師：東京慈恵会医科大学附属第三病院リハビリテーション科 診療医長 **羽田 拓也** 氏

脳の仕組み上、高次脳機能障害の方が中途障害を理解することとは？心理的、情動的な面より関わってきた事例等。各分野での対応はしたら…気づかせるようにしないとならないのか…。

2部 トークセッション：高次脳機能障害を「気づく」こと、その体験から

一般社団法人障害者就労支援協会

就労移行支援事業所コンフィデンス日本橋 施設長

佐藤 栄司 氏

コンフィデンス日本橋元利用者 株式会社ワールドコーポレーション勤務

岡庭 順一 氏

コンフィデンス日本橋元利用者 株式会社エトワール海渡勤務

一ノ瀬 康彦 氏

高次脳機能障害の本人と支援者が登壇し、「高次脳機能障害に気づくこと」について、体験から質疑応答形式でのトークセッションを行います。気づくことはできる？支援者等から「障害」「症状」「気づき」などのことを言われたら？

【申込みについて】

申込期間：令和6年9月10日（火）午前9時から10月4日（金）午後5時まで

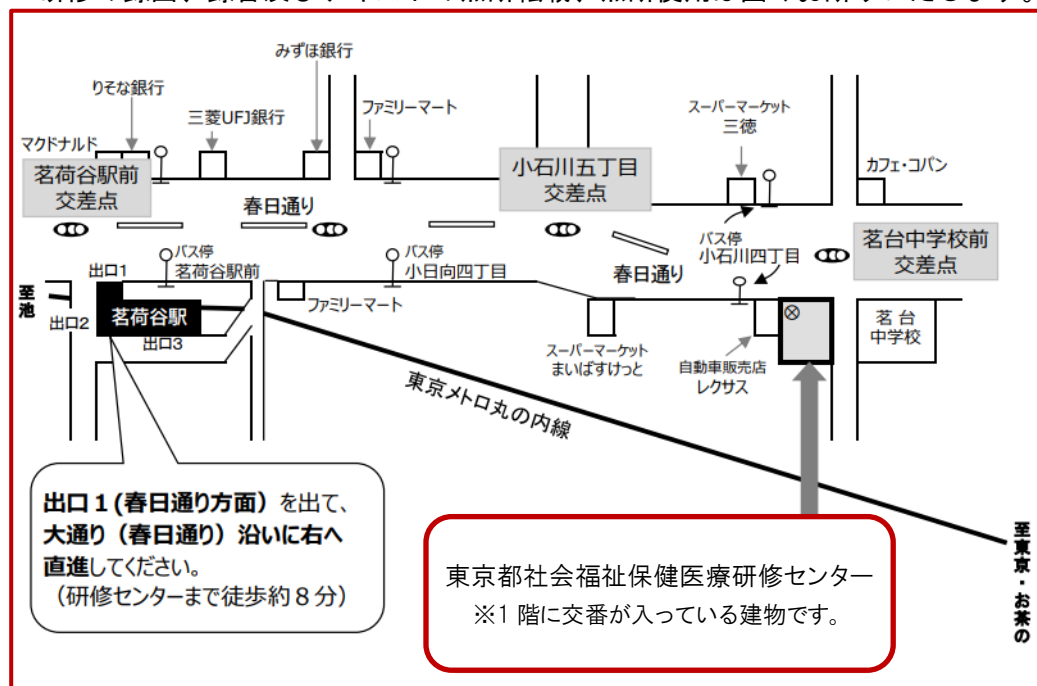
申込方法：下記URLまたはQRコードからお申込みください。

- ・研修の申し込みはL o G o フォームにて行います。受付が完了すると登録したメールに完了した旨の連絡が届きますので、必ずご確認ください。メールが届いていない場合は受付ができていません。
- ・研修会受講に際し、車いす使用のため、座席の位置やスペースに配慮が必要など、配慮事項がございましたら、申し込みフォームにてお知らせください。後日、事務局から内容の確認等のご連絡をさせていただきます。

インターネット（一般）	LGWAN
https://logoform.jp/form/tmgform/657834	https://tb.logoform-st-japan.asp.lgwan.jp/form/tmgform/657834
	

【注意事項】

- ・研修中は、マスクの着用にご協力ください。
- ・研修の録画、録音及びテキストの無断転載、無断使用は固くお断りいたします。



＜アクセス＞

東京メトロ
丸の内線
茗荷谷駅下車
徒歩約8分

＊研修センターには駐車場・駐輪場はありません。公共交通機関をご利用ください。

＊講堂内・各階ロビーでの飲食はできません。地下1階または3階の談話室をご利用下さい。

【事務局】

東京都心身障害者福祉センター地域支援課高次脳機能障害者支援担当
電話 03-3235-2956